

1. 件名：実用発電用原子炉の有毒ガス防護に関する電気事業連合会等との面談

2. 日時：平成29年6月27日（火）17：00～18：00

3. 場所：原子力規制庁8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制企画課 角谷係長、田邊係員

安全規制管理官（再処理・加工・使用担当）付 山神安全審査官

関西電力(株)原子力事業本部 発電グループ マネジャー、他2名

九州電力(株)発電本部 リスク管理・解析グループ 副長、他1名

四国電力(株)原子力本部原子力部環境技術グループ 副リーダー、他1名

電気事業連合会 副部長

5. 要旨

○有毒ガスの発生への対策に係る指示に基づく報告書の案について、平成29年6月12日に行った面談における原子力規制庁の指摘に関し、事業者より説明があった。

○事業者より、空気呼吸具を使用する要員への教育や、空気ポンペを分散配置している場合には、追加の空気ポンペの運搬等の手順についても定めることの記載を追加した旨説明があった。

○原子力規制庁からは、今後の進め方として、報告書は面談を通じて受領することとし、受領後は原子力規制委員会ホームページに掲載すること、必要に応じて現場確認を行う可能性があること等について言及した。

6. 配布資料

- ・ 実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則等の一部改正等に係る対応の報告について